

2017 年度 ほっかほっか亭旗争奪
第 31 回日本リトルシニア関西連盟中国支部
卒団記念大会



大会要綱

主 催	一般財団法人 日本リトルシニア中学硬式野球協会 関西連盟中国支部
後 援	(公財)日本野球連盟中国地区連盟 (JABA 広島県野球連盟) ・三菱重工広島硬式野球部・JR西日本硬式野球部・JFE西日本硬式野球部 ・MSH医療専門学校硬式野球部・ツネイシブルーパイレーツ・伯和ビクトリーズ ・福山ローズファイターズ、(株)アシックス、(株)エスエスケイ、ゼット(株)、Mac's Trainer Room、広島管公学生服(株)
協 賛	株式会社ハーカスレイ (ほっかほっか亭中国各店舗)、ミズノ(株)、(株)体育社 (株)健康体力研究所、(株)共同写真企画
期 日	平成 29 年 8 月 26 日 (土) ~ 平成 29 年 9 月 3 日 (日)
場 所	津田恒美メモリアルスタジアム、呉市総合スポーツセンター野球場 山口東シニア専用球場、広島南シニア専用球場、広島佐伯シニア専用球場 三原中央シニア専用球場 (全 6 球場)
競 技 方 法	関西連盟大会規定を採用する。(一部、大会特別規定を採用) トーナメント戦 (三位決定戦は行わない)
開 会 式	期 : 平成 29 年 8 月 26 日 (土) : 8:00 (開門 7:00~ 受付 : 7:15~) 於 : 津田恒美メモリアルスタジアム
閉 会 式	期 : 平成 29 年 9 月 3 日 (日) : 決勝戦終了後 (16:30 予定) 於 : 呉市総合スポーツセンター野球場
参加チーム	日本リトルシニア関西連盟 中国支部加盟リーグ : 19 チーム

抽 選 会	平成 29 年 5 月 20 日 (土) : しまなみ球場 (日本選手権中国大会開会式後)
参 加 費	大会規定額を納入 (期日までに中国支部の口座に振込)
試 合 球	ミズノ (シニアリーグ公認球) 試合ごとに 4 球
審 判 員	<ul style="list-style-type: none">一回戦～準々決勝 : 父兄審判員 4 名 (各チームから 2 名ずつ派遣) ※但し、父兄審判員については、審判部が発行する審判カード所持者に限る。準決勝～決勝戦 : 本部審判員 4 名 (各チームからの派遣なし)
審 判 弁 当	派遣人数分支給 (各チーム : 1 日 2 個まで)
参 加 要 件	<ol style="list-style-type: none">本大会に出場できる選手は中学三年生までとし、関西連盟が発行する選手・指導者カード (仮カード含む) の所持者のみ、ベンチ入りを許可する。専用球場を保有するチームは、当該試合の有無に関わらず、本大会の試合会場として協力できること。本大会に参加する選手 (指導者含む) ならびにチーム関係者は、全ての試合において大会弁当 (@600 円) を注文すること。

競技要項（大会特別規定）

- 1 ベンチは若番が一塁側とし、ロージン・ボールボーイは支部取り決めどおりとする。
- 2 今大会の父兄審判員は、若番が球審と二塁を担当し、担当する試合は支部取り決めどおりとする。
- 3 各球場のグランドルールは、試合開始前に各会場の責任審判員により説明を行う。
- 4 試合は2時間または7回戦とし、5回をもって試合成立とする。（5回までは2時間超えても試合を行う）なお、試合成立後に同点の場合は延長戦及びタイブレイクは行わず、最終出場メンバー（18名）による抽選にて勝負を決する。
- 5 5回以降7点差および4回以降10点差をもってコールドゲームとする。（但し決勝戦は除く）
- 6 メンバー交換は前試合3回終了後、大会本部が指定する場所にて、事務局長・監督・大会登録選手全員が集合し、選手カード・所定のメンバー表（4部）・試合球（4球）・投球確認シートを提出し、担当審判員並びに本部役員立ち会いのもと、メンバー表と選手カードの照合を実施し、先攻後攻を決定する。
- 7 試合前のシートノックは行わず、全試合サイドノックとする。
ノック時のボールボーイは必ずヘルメットを着用する。（各補助員は大会登録選手に限る）
- 8 外野フィールド内でのトスバッティングやノック及びスパイクシューズを履いてのキャッチボールを禁止する。（アップシューズ着用でのキャッチボールは可）
- 9 次試合チームの先発バッテリー1組に限り、4回終了後、ブルペンに入って投球練習を行うことが出来る。（但し、ブルペン入場は試合を妨げないよう攻守交代中に入場すること）
- 10 ブルペン捕手は、スタンディングの場合であっても必ず防具を着用（特にキャッチ面）し、捕手の安全を守る選手を1名帯同させること。（保護選手も必ずヘルメットを着用すること）

その他の注意事項

- 1 審判員は第1試合の試合開始40分前に待機し、第2試合以降は、前試合3回終了前までに必ず審判控室にて待機する。（審判服は支部指定）※審判カードを持参。
- 2 各チームの放送係は、第1試合の試合開始40分前に必ず名札を付けて待機しておくこと。
- 3 審判へのお茶出し及び試合中におけるメンバー交換のアナウンスは行わない。
- 4 各会場の球場担当は、一塁側が本部当番、審判お茶出し、BSO、ボールボーイの空き箱用意。三塁側が試合速報入力、スコアボード操作（電光掲示板含む）を担当する。
- 5 試合成績表の記録者は、名札を付け予備球を持って記録室に入室のこと。
- 6 当日、事務局長が欠席の際は「事務局長代行届」を各会場の本部に提出すること。
- 7 各チームの応援団はメガホンを叩いての応援を禁止する。（鳴り物応援禁止）